

平成27年度第1回 倉敷市地域福祉基金運営委員会

日 時 平成27年7月24日(金) 13時30分～14時30分

会 場 倉敷市役所本庁舎7階 701会議室

出席者

委員 吉田委員, 植田委員, 永瀬委員(副会長), 森脇委員(監事), 岡本委員(会長),
榊原委員(監事), 藤田委員

事務局

保健福祉局) 三木参事

保健福祉推進課) 月本課長主幹, 清水主幹, 久保田副主任, 宮崎主事

欠席者

委員 平井委員, 木村委員, 平岡委員

傍聴者 なし

議事内容(要旨)

1 開 会

今回の会議は委員改選後第1回目の会議であるため, はじめに委嘱状の交付を行った。

委員7名の出席により, 倉敷市地域福祉基金運営委員会規約第9条第2項の規定に基づき, 会議が成立していることを確認し, 開会を宣言した。

役員相互について諮ったところ, 会長は岡本委員, 副会長は永瀬委員, 監事は森脇委員, 榊原委員に依頼してはどうかという意見があり決定し, 規約に基づき会議の進行を岡本会長に依頼した。

2 議 事 (発言者:◎会長 ○委員 ■事務局)

(1) 平成26年度事業報告, 決算報告及び監査報告について

■ 資料に従い説明を行った。

○ 基金の歳入歳出について監査した結果, 歳入歳出各科目の収支に関する経理は, 基金の目的に沿って適切に処理され, 関係帳簿も正確であったことを報告し, 監査報告とする。

承認

(2) 平成27年度事業計画及び予算(案), 各申請団体の審査について

■ 資料に従い説明を行った。

○ 私は今までこの助成金制度を知らなかった。助成事業に申し込む方は, どこを通して申し込んでいいのか経緯を教えてほしい。

■ 広報紙の募集記事や, ボランティアセンター・市民活動センター等に置いているチラシを見たり, 助成制度を知っているボランティアグループからの紹介等により制度を知り, 申し込みに来られているようだ。

○ 交付金300万円の予算はどこから出ているのか。

■ 市の一般会計からいったん300万円の交付を受け, 事業終了後に事業にかかった費用を地域福祉基金から一般会計に繰り入れている。

○ 新規申請団体が多い年と少ない年がある。申請件数の増減を調節するために, 募集の頻度を変える等のことを意識的に行っているのか。

- 近年助成団体が減少傾向にあるため、現在の広報活動に加え、チラシ配布箇所を増やす等広報活動の見直しを検討しているが、募集件数の増減を調節するために、意図的に広報活動を加減しているわけではない。
- 3件というのは、たまたま少なかったということか。
- はい。募集件数の上限は設定していない。
- ◎ 新規に立ち上げた団体だけでなく、既存の団体の新たな試みも助成の対象となっている。既存の団体にも声掛けをしていくことで、全体が底上げされていくと思う。
- ふれあいの旅しらかべ号の事業決算書で収入に計上されている参加費80万円が、実際の参加人数分より多いようだが、当日参加しなかった人の参加費も収入に含めるのか。また、今年度も予算に余裕があるようだが助成団体の追加募集はできないのか。
- ハンディのある方30名、ボランティアの方30名の他にしらかべ号の実行委員20名の総勢80名で、参加費が80万円となっている。事前にキャンセルした方には参加費を返還しており、3名分のキャンセル料3万円を支出の部に計上している。1名は直前のキャンセルだったため参加費を返還していない。助成事業は、募集期間を決めて募集を行い、委員会で承認いただき予算を執行するという形をとっており、今から追加募集を行うことは難しい。

承認

(3) その他

- 助成事業についてだが、1年目だけ助成を受けることも可能なのか。1年目を申請すると、2年目以降も申請しないといけないのか。
- 1年目だけ助成を受けることもできる。
- ◎ これまでに2年目以降の助成を辞退した団体はあるか。
- 活動自体が難しくなり、3年目は申請しないという団体があったが、3年間助成を受ける団体がほとんどである。
- ◎ 事務局の作成した議事録について間違いがないかどうか承認を行う署名委員は、私のほかに、監事の森脇委員にお願いしたいと思うがいかがか。

承認

3 閉会

以上により、議事を終了